

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
情報ネットワーク基礎 Information Network		1年	後期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
2単位	講義	選択	(特になし)	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
特になし				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟3F	月曜日		授業中に指示します
授業の概要				
私たちが普段利用しているネットワークは、24時間365日稼動している。この授業は、人が休んでいる間も仕事をしているネットワークの構造について学習する。				
授業の目標				
①ネットワークの基本概念について、説明できるようにする。 ②ネットワーク機器の種類と役割について、説明できるようにする。 ③通信プロトコルの種類と役割について、説明できるようにする。				
授業の方法				
講義形式で、必要に応じて演習を行いながら進める。 理解度の確認を2回実施する。				
学習の成果(学習成果)				
授業の目標①②を達成すると、簡単なネットワークを設計することができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	ガイダンス(学習成果、成績評価) 通信のしくみ、OSI基本参照モデル、TCP/IPプロトコル群、通信方式の種類			
第2回目	ITインフラ			
第3回目	ネットワークインターフェース層①			
第4回目	ネットワークインターフェース層②			
第5回目	トランスポート層①			
第6回目	トランスポート層②			

第7回目	アプリケーション層①	
第8回目	アプリケーション層②	
第9回目	セキュリティ①	
第10回目	セキュリティ②	
第11回目	理解度の確認 1 と解説	
第12回目	ネットワーク設計①	
第13回目	ネットワーク設計②	
第14回目	理解度の確認 2 と解説	
第15回目	授業で学習した内容の復習	
成績評価の方法と基準		
評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度		
レポート	50%	演習（選択形式）が該当する。満点となる条件は「すべての解答が正解」である。
調査報告書		
小テスト	50%	理解度の確認（選択形式）が該当する。試験 1 つあたりの配点は50点/2である。満点となる条件は「すべての解答が正解」である。
試験		
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
教科書：「徹底攻略 ネットワークスペシャリスト教科書」（出版：インプレス） ※必ず購入し、第一回目の授業から持参すること。		
履修上の留意点・ルール		
2回の遅刻は1回の欠席となる。		